



## 《盛会だった新年会 報告》

～論旨明快だった周藤さんの講演～

日時：1月30日（土）午後3：00～

会場：桜はなび

金沢龍馬会の新年会は金沢市内の「桜はなび」にて開催。寒の内とは思えぬ温かいこの日24名の男女会員が参加、大いに飲み語り楽しいひと時を過ごしました。

参加者は小屋/中川/不破/蛭子/宇賀/中田（俊）/佐藤/守山/大坪/吉田/紐野/油谷/勝田/中城/寺元/山崎/朝日/周藤/北川/西（三）の20名に加えて新会員として折戸登/中田文江/谷伊津子/中堀衣利子さんの4名、合計24名が参加、盛大に開催されました。

中川会長からは「会員講話を中心に互いに切磋琢磨して目標会員50名をメドに頑張りましょう」とのメッセージが寄せられました。

講演は金沢医療センターのドクター周藤英将さんの「龍馬の早すぎた死が日本の未来に落とした影」という興味のある演題でした。

プロジェクターによるプレゼンテーション。パソコンを駆使してのゆっくりとかみしめるような判り易い“周藤節”にすっかり魅了され引き込まれました。「勝てば官軍」の元に大事な史実が葬られてきたことを指摘されました。

内容が深く家に帰って高校の日本史教科書を読み直したほどでした。“龍馬は誰に殺されたのか？などの”質問を始め多く出され周藤さんの懇切丁寧な受け答えに感服です。

その後は楽しい懇親会。そして金沢龍馬会のこれからの発展を祈って紐野県議が高らかに乾杯して懇親会に移りました。

新入会員を柱に簡単な自己紹介で更に盛り上がり各会員とグラスを交わし、日頃の活動の話など



に話の花を咲かせました。

楽しいひと時はあっという間に時は過ぎ最後は駆け付けられ不破県議の一本締めで楽しい宴は無事に終了しました。

大いに盛り上がり大盛会、金沢龍馬会健在をお互いに確認しあった貴重なひと時でした。

## 《総会》

日時：6月18日（土） 15：00～18：00

場所：桜はなび

講演：小幡謙二氏

懇親会：16：00～

費用：参加費¥3,000円、年会費¥3,000円

## 【会員のつづき】

### “龍馬の酒の飲み方”

北川優介

私は気の合った人と会って飲む酒が大の楽しみです。



居酒屋で初めて会う人と仲良くなった時は本当に美味しい酒が飲めたと感じます。

私が龍馬会に入ったきっかけは、副会長の蛭子さんに出会ったのが始まりで、最初は「人の中心に居てなんて美味しそうに酒を飲み人なんだろう」と思ったものです。

「その人が入会している会ならば入ってみたい」と思い入会しました。

龍馬に関しての知識は皆さんと比べるのも恥ずかしいレベルです。

が、あの時代にあれだけの影響力を持った坂本龍馬の人の付き合い方と酒の付き合い方には大変興味深いと思っており、「薩長同盟の交渉時の酒は美味しかったのだろうか？」「龍馬はどんな話をしながら酒を飲むのだろうか？」「どんな人たちと酒を酌み交わし人脈を広げたんだろう？」と考えてしまいます。

私も龍馬会に入ったからには酒を嗜みながら色々な人と出会い親睦を深め自分も楽しみながら自分の財産にし、少しでも龍馬に近づきたいと思っています。

## まるわかり「龍馬入門講座」⑦

これは2010年NHKテレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し吉田が若干編集しました。(本掲載は金沢龍馬会内部のみです)

⑩1866年6月17日、坂本龍馬ら亀山社中の同志は薩摩藩が長州藩に購入したイギリスの船「ユニオン号」(後の桜島丸、乙丑丸)を操り幕府の第二次長州征伐による下関海戦に参加し、長州藩を援護しました。この軍艦を売ったのが長崎のイギリス人貿易商：トーマス・ブレイク・グラバーでした。

《1859年に長崎を訪れ、1861年にグラバー商会を設立し、日本茶の輸出を始め幕末動乱を背景に武器、艦船主体の貿易で事業を拡大しました。薩摩藩は薩英戦争(1863)で外国の力を知り攘夷から倒幕へと転換し軍備充実を図る中、グラバーとの関係を深めていきました。アメリカでは南北戦争が終結し、その武器が上海を通じ長崎に流れました。》

亀山社中を設立した龍馬は、新国家樹立には対立関係にある薩摩、長州両藩の連携が必要と考えました。幕府と敵対する長州藩のために薩摩藩名義で武器、軍艦をグラバーから購入することを画策しました。

1865年長州藩は伊藤俊輔(博文)、井上聞多(馨)を長崎に派遣。社中は二人を、出張で長崎にいた薩摩藩家老：小松帯刀に紹介、両藩を接近させます。

一方でグラバーとの接触も進め、長州藩は約7千3百挺の銃を購入、さらに近藤長次郎が薩摩藩名義でのユニオン号の入手を工作しました。

《グラバーは明治時代のインタビューで「徳川政府の反逆人の中では、自分が最も大きな反逆人だと思った」と回想しています。グラバーは危険な貿易を遂行しましたが、意識的に倒幕勢力を支援したかどうかはあきらかではありません。グラバーの取引の中で幕府注文のアームストロング砲納入が遅れていた事実があります。それがグラバーの指示によるものか研究の余地があります》

⑪上が、薩長同盟6項目の条文が書かれた桂小五郎からの手紙で、桂から頼まれて書いた龍馬の裏書があります。

① 州が幕府との戦争になった時は、薩摩は直ちに兵2000余名を上京させ在京の兵と合せ大阪にも1000名ぐらい配置し京都大阪を固め

② 薩長勝利の時は、朝廷に長州の事をとりなす事

③ 万一、負けそうなときのも一年や半年は頑張るので味方すること

④ 幕府が勝負を避けて江戸の帰っても長州の冤罪を朝廷が許すよとりなす事

⑤ 会津藩、桑名藩が朝廷を奉り正義に反すれば、戦争やむない

⑥ 長州藩の冤罪が晴れば、薩長双方とも、誠心をもって一体化し、皇国のため、皇威発揚のため、きっと尽力する 「続く」(記：吉田信夫)

### ●年会費納入のお願い

28年4月から来年3月迄の年会費：

¥3,000

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬会

振込手数料は龍馬会が負担。3千円のみです。

### 【新入会員】

95 中田 文江 96 谷 伊津子

97 中堀 衣利子

### 【編集後記】

皆さま、新年会も無事に終わり、さあ、今年も心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第7号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。これからも皆さまのご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。

(記：中田俊郎)

\*\*\*\*\* 事務局\*\*\*\*\*

### 金沢龍馬会

会 長：中川可能作

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

[jitianxinfu@hotmail.com](mailto:jitianxinfu@hotmail.com)

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

[n-toshio@muji.biglobe.ne.jp](mailto:n-toshio@muji.biglobe.ne.jp)

金沢龍馬会公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

